

古魚シーラカンス

と

南阿の主相マーラン博士

大島正満

小さな宗谷が日の御旗をはためかせながら親善の航跡を残して来た南阿の海から、五千万年前に姿をかき消したといわれている硬鱗魚シーラカンスの一種が、昔ながらの魁偉な姿を突如として現われ、手をのべた人をグツとにらんで恐ろしい歯をむき出したというビッグニュースが全世界をゆり動かしたのは1938年も将に終りを告げんとする頃であつた。

その頃の南阿連邦の文化の水準は至つて低く、図書館博物館などの施設は殆んど零に等しい有様で、イースト・ロンドン市立の博物館ですらその経営費年額僅に700磅で、館員の殆ど凡てがパートタイムの兼職者ばかり、そして目ぼしい資料は凡て本国の大英博物館へ送付するという方針の下に運営されていた。そこへ専任の館員が1名配置されることになつて Miss M. Courteney-Latimer という若い婦人が任に就いた。館務の凡ての責任を一身に負うて立つたラティマー嬢は熱意を以てこの小博物館の経営に当り、先づ第一に地方民が興味を惹く陳列品の展示を志し、数多い釣天狗共を喜ばすために珍しい魚類を陳列する案を立てて漁業会社と連絡をとつた。

1938年12月22日の朝早く、魚市場からの電話のベルがけたたましく鳴つてトロー船が巨大怪魚を漁獲して帰港したことを報じて来た。取るものもとり

あえず駈けつけたラティマー嬢の目にとまつたのは鮫や様々な底魚に伍して甲板に横たわつていた見るからに恐ろしい姿の大とかげのような奇魚で、体長5呎、体重127封度、全身蒼黒色で堅い大きな鱗で包まれ、上下両顎には恐ろしい牙のような歯が列生していた。一見肺魚のようでもあるが漁夫達はおよぼ怪魚は見るのが初めてだという時は盛夏の候で漁獲物は早くも腐臭を発していた。博物館に搬入しては見たが処置のしようがなく怪魚はすぐに剝製者の手に渡された。素人の悲しさに貧弱な文献をたよりにこの怪魚の身許を洗つては見たがラティマー嬢にはその名がてんでわからなかつた。そこで簡単なスケッチを添え、当時田舎の別荘に滞在中であつた南阿唯一の魚学者ジュー、エルビー・スミス博士宛に書を認めて鑑定を乞うたが、一目そのスケッチをかいまみ博士はこれは思いもよらぬ古代の魚族だと直感して愕然とした。そしてこれは東アフリカの沿岸では未だ嘗つて姿を現わしたことの無い奇魚だと考え、

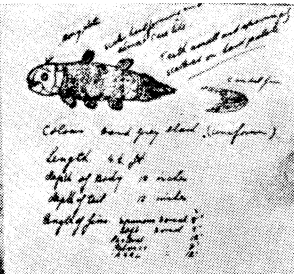
「全身堅甲の如き硬鱗で包まれています、そして胸鰭と腹鰭とは蜥蜴の手足のようで末端まで堅い鱗で覆われています。且つまた第一背鰭の棘条は白い微細な棘になつています」とラティマー嬢が手記して特に朱線を引いた条項と図に示された不思議な

尾鱗の形とをヂツと見入っていたが、「ヤツこれは化石に現われる遠い昔の原始的魚類らしいが、それが生きて南阿の海に姿を現わしたものらしい。まこととは思えぬが、然し現実にはノーと答える。さてどうしたことなのだろう」と博士は狐につままれたような顔をして立ち上がった。その様を見まもっていた夫人と母堂とが、何か凶報ではないのですかと駈けよつて来たが、「これが驚かずにいられるか、この書信をごらん」と差し出されたミス・ラテイマーの手紙と魚のスケッチに目を通して見た二人は「マア'マア' どうしたことでしょう」と目をつぶらにした。

その叫びに5千万年前の夢から呼びさまされて現世に舞い戻った博士は、「予は気が狂つたのではないよ、化石でしか姿が見られない遠い昔の魚が生きて姿を現わしたのだ。



シーラカンスの発見者ラテイマー嬢とスミス博士に送った書簡の一部



然し予の常識は否とささやく一刻も早くこの目で見届けなくては」と仕事にかけてはいつも慎重な博士が興奮の極に達していた。その時ラテイマー嬢の手紙を取り上げて読み直していた夫人が「あなた今日は何日だと思えます1月3日ですよ。発信日は12月23日となっていますから既に11日を経過しています。世界の貴重品となるべきその稀魚がその後どうなつたことや、早く手を打つのが先決問題ですよ」と博士に呼びかけた。

「そうだ、現品は剝製にやつたとあ

るが、内臓諸器官の重要性を知らぬ剝製師は皮を剥いで他の凡てを棄ててしまつたかも知れぬ。それでなくても今は夏の盛りで凡てが腐る。これはいかぬ」

と博士は早速郵便局へ駈けつけ

「骨骼並びに鰓は研究上最も必要なり、保存せよ」

とラテイマー嬢宛打電し「未だ確信はないがスケッチに示された奇魚は既に絶滅したと信じられているシーラカンスの一種で、学界に一大旋風を巻き起す貴重品らしい大切に保存されたし」と追っかけ手紙で申送つた。当時スミス博士がクリスマス休暇を過していた

のはイースト、ロンドンから350哩を隔てた交通不便な田舎で電話連絡も容易でなかつたし、郵便ですら6日を要する僻遠の地であつた。従つてスミス博士の焦燥は

譬うるにもものがなかつたが、博士は元来化石魚の専門学者でなかつたので、突如姿を現わした稀魚が古代の総鱗類に属するシーラカンス (Coelacanth) らしいと漠然と考えられたが、それには自信が無かつた上に、5千万年前絶滅にしたと信ぜられているものが今日目の前に姿を現わそうとは到底信じられなかつた。

その際ふと思ひ出したのはケープタウンの博物館に大英博物館刊行の化石魚目録が備えつけられてあることであつた。そこで早速その借用方を申し出

て避暑先え取りよセラティマーの資料と照合して見たが、シーラカンス(中空という義で脊椎骨末完成を現わす)に非ざればそれに近似したものという事は疑を容れる余地が無つた。然しかかる巨魚が南阿の沿海で5千万年も生きていたとしたならば人の目につかぬ筈が無いのに今日まで何の記録もない。

して見れば色々姿を現わしたものの故郷は未だ人智の及ばざる水域で、海流異変によつてその一尾がイースト・ロンドン沖に押し流されて来たのかも知れぬと思案に暮れていた。その際差し迫つた公用のため博士はイースト・ロンドンに足を運ぶことができなかつたので、剥ぎ取つた奇魚の皮と骨骼内臓一切を防腐して博士の手許へ送附する

ようラティマー嬢に書き送り、稀魚発見の名譽を顕彰するために試案ではあるが、ラティメリア(Latimeria)という新属を創設し、チャルムナ(Chalumna)沖40尋の水域で漁獲されたことを記念するため種名をChalumnaeとなし Latimeria Chalumnae Smitn という学名を与えるということを書き添えた。

ところが数日を経て到着した返書に「体内に骨骼は見当りませんでした。脊柱は白くて柔軟な軟骨質のもので頭部から尾端まで背中線に沿うて縦走していましたが、横断面の直径約1吋で内部には油脂が充満し、切断面から油滴が滴下していました。

筋肉は柔軟で粘土状、胃は空虚、体重127封度、酷暑の候なので剥製を急いでいます。

鰓間には繊細な棘が列生していましたが、内臓と共に廃棄しました。体鱗は堅甲状で皮膚に陥入していましたが、頭骨だけは除去せずに口を開いた形で剥製させました。内臓その他を保存して先生の指示を待ちましたが、3日待つても貴答

が無く、腐敗し始めましたので余義なく廃棄しました」。

とあり、結極スミス博士がその実体を目撃してシーラカンスに相違なしと大鼓判を押した5千万年の稀魚は、硬鱗で包まれた皮のみをとどめた剥製品となり、様々な興味ある科学的資料を提供すべかりし内部構造は間から間へ葬り去られてしまつた。



100 封度の賞金をかけ英、葡、仏語で認めたシーラカンス採掘に関する公告。中央図はラティメリア、チャルムネー

1938年の終りに南阿イースト・ロンドン沖で活けるシーラカンスが発見されたことは全世界を驚倒させた語り草であつたが、学界の凡てが知らんと欲したのは、今尚この原始魚が生を托して増殖しつつある安住の水域は何処なのか、5千万年前の姿そのままの稀有の内部構造とその生態習性はどんなのが、生物学上から見て最も興味の深い問題の集積であつたが、第2のシーラカンスを捕獲してかかる問題の解決に突進せねばならぬ責任を負わされたスミス博士も祖国の為にはペンを棄てて剣を執らねばならぬ第2次世界大戦の波にまき込まれた。その間人智を増すための貴き仕事は凡て阻止せられ、シーラカンスの影もうすれてしまつたが、戦終つて平和の世となるや特に南阿に於ては世界の話題となつているシーラカンスのみならず、探査の手が届いていないモザンビック水道の海洋資源を探査する大規模の探険に着手せよとの声が高くなり、戦後グレアムズタウン大学教授の任にあつたスミス博士は東アフリカから印度洋西部に至る広い水域の魚類を徹底的に調査する調査団を率いて出動した。そしてその序に賞金100封度をかけてシーラカンスを求むる英仏葡三ヶ国語で認めたライメリアの図入りのピラ数千万を用意して津々浦々に配付し、以て東アフリカ全沿岸の注意を喚起した。

潮流の関係並びに海底地形などから考察して、南の方イースト・ロンドン沖に現われたシーラカンスの出発点はマダガスカルとアフリカ大陸との間に点在する仏領コモロ諸島らしいとスミス博士の第6感が暗示していたところえアフリカとコモロとの間をスクナーで往復して海産物の商売をしていた

ハントという男が現われた。スミス博士夫妻のシーラカンスに関する説話に耳を傾けていたハンスは「宜しい、その広告ピラをコモロへ持参しましょう。そして土民の注意を喚起して私も稀魚捕獲の一役を買ひましょう」と申し出た。

万事を彼に托し、業を終つた調査団が帰路に就てダーバンに寄港したのは1952年12月24日のことであつたが、船が接岸すると同時に一通の至急電報がスミス博士の懐に舞ひ込んだ。

「20日体長5呎のシーラカンス漁獲、
フオルマリン注射、返、ザウジにて、
ハント」

とある「ザウジとは何処だろう。ついで聞かない地名だが」と船の士官に問いかけても、さてと首をかしげるばかり、そのうちに若しい官の一人が海図室から飛んで出て来て「ゴモロの小島パマンチーの一角ですよ」と教えて呉れた。熱帯の小島。冷凍設備は勿論無い上にフオルマリンも充分ではなからう。その悪条件の場処で体長5呎の巨魚、それに漁獲してから4日たつている。腐る腐る、どうしたものかと14年を経過して再び待望のシーラカンスにめぐり逢うかも知れぬスミス博士の困惑と焦燥とは筆紙に尽せぬ状態であつた。宝を失つてはならぬ、ザウジえザウジへと心はあせつてもこの場合は空をかけるより他に手段はない、といつて民間機を特発させる資力は無い。道は只一つ、軍用機の出動を乞うのみと博士は考えたが降誕節を控えてあらゆる機関が停止し何とも手の打ちようが無い、「科学に理解の深かつた前の首相スマッツ元師が在職であつたら直ちに援助の手をのべるになア」とささやく者が現われたが博士は毅然として

反撃するという「無用!! 無用!! 今日と同じような場合、彼は自分を引見しようともしなかつた」と何事か知らねど前首相を非難する語勢があまりにも激しかつたので周囲の人々は驚きの眼を見はつて沈黙してしまつた。後に判明したが、遠くアフリカ西海岸の魚類採集に出動していたスミス博士が、機を逸しては見す見す宝の山ともいふべき魚群を逃がす事態に遭遇して軍用機の出動を懇願に出かけた際に、折から来訪の米人を接待中であつた首相は、平素科学の擁護を旗じるしとしているその声明を裏切つて、来客中の強訴はけしからぬと博士に玄關払ひを喰わせた。博士が多年心血を注いだ大冊「南阿の魚類」に出版者はスマッツ元師の序文を得て光彩を添える積りであつたが、そのことのあつた際とて心にもい科学礼讃を口にする政治家は汚らわしいとてスミス博士は敢然自著にスマッツ首相が介入することを拒絶した。

真贗な自国の科学者達を圧迫して徒らに外人に媚びる為政者は自ら墓穴を掘つて国民の信を失うのは当然である。廻り来つた次期の選挙にさしも強力であつた軍閥スマッツ元師一派は惨敗を喫して民主々義に活くる高潔なマーラン博士が首相の印授を帯びることになつた。

今の事態はそれと全く同一であつた。即刻飛び立たねば世界の珍宝が消え失せる。然るに採集品を山と積んで入港した乗船は早朝船出帆する。利用すべき民間機は一台も無いところえ運悪く明日はクリスマスである、電信電話も通ぜず、要路の人々は悉くどこかえ身を潜めて取りつく島がない。最後の一策として空軍司令部へ電話したところが「死魚一尾のために軍用機が

飛ばせるか、きちがいめ」と当直将校にこつぴどくどなられた。

一尾の古魚を求むるために100方手をつくして見たが鉄のカーテンに突き当つてしまつた。スミス博士は百計尽きて遂に最後の切札を出さざるを得なくなつた。マーラン! マーラン! 首相マーランこそは救の神よと彼は確信したし憂を共にする人々も同感であつたが然しクリスマス・イヴの夜はふけて南十字星は静にまたたいていた。当時ケープタウン郊外の人知れぬ場処に老首相マーランは身を潜め、四囲との連絡を全く絶つて独り静に「地にはだおやか人には平和あれ」と祈つていた折なので、ダーバンから長距離電話でその隠れ家を探しあてるのは殆んど不可能と云うべき事態であつた。然し首相と別懇でダーバンに居住していた上院議員シアラー博士が、首相官邸に国家の一大事と告げて遂にマーラン夫人呼出しに成功した。そしてスミス博士苦悩の一部始終を簡単に告げて首相に伝達を乞うたが「静に病を養う首相は只今眠についたばかりで、明朝まで起すなと申しますから、朝まで御待ち願いたい悪しからずとのことであつた。スマッツ前首相で苦杯を喫したスミス博士は、また背追投げかなと思ひに沈んでいた利那シアラー邸の電話がけたたましく鳴つてケープタウンからと呼んでいた。受話器を手にしたシアラーが大声で「マーラン首相が直接話したいと呼んでいますぞ」と気も転倒せんばかりに呼びかけた。受話器から流れ出る錆びた老人らしい荘重な英語「今晚はスミス教授! 御話の概要を伺いましたが、要点を詳細に承りたいのです」と呼びかけられたので、博士は「では南阿語で申し述べますが、術語でつか

えるかも知れません。どうか御許しを願います」と答えたのを聞いて首相は「英語で話さない」と遮ぎつた。然し博士は南阿語で語り続けシーラカンス発見の由来、外皮以外を失つた残念さ、爾來十数年に亘る第2号とその棲息水域の追及、再発見と腐敗のおそれ、交通不便な仏領水域、人智を増すための最善の努力、南阿の名誉をかけて等々熱意をこめて物語つた後に、この眼で見た上でなければ、それが果して真のシーラカンスであるや否や断定し兼ねる危険が潜んでいるのですが私は英国旗を翻してコモロで活躍するハントの報を信頼するのです。私は自身の名誉のために狂奔するものではありません。これは国家的な光輝ある仕事で、この古魚の本態を明かにすることは世界人類のために南阿連邦が負わねばならぬ義務であると信ずる次第で、閣下の援助を乞う所以はここにあるのですと結んだ。

マーラン首相はその間一言も狭まらずに傾聴していたらしいがあまりにも静なので「そこに御出なのですか」と博士が時折問うてみた。その都度「イエス」と答があつて「続けて、続けて」と呼びかける。演述12分、博士が語り終つたら、「あなたの南阿語はすばらしい」とほめられたが、博士が欲求していたのはシーラカンスに対する反応であつた。ところが暫らく静寂が続いてから、「貴下の御話はすばらしい。これは国家の重大事であると私は考える然し、今晚は更たけて手のうちようがない。明朝目ざめたらすぐ教授を空路コモロに運ぶよう国防大臣に命令します。その結果をどこへ電話しましよかと」丁寧莊重な言葉で述べられた。私共を乗せて来た船は明早朝ダーバンを

出帆するのです。では正午前9時シア一氏の宅で待ち受けますではおやすみなさい。マーラン博士」と厚く礼を述べて電話を切つた。

時ならぬ深夜の電話に夢を破られた老首相は、たじろぐ夫人を病床に呼びよせて国家の一大事」という親友シアラー議員の訴願の趣に耳を傾けた上で、「書斎の机上に南阿魚族誌と題する大著が置いてあるから持つて来なさい」と夫人に命じて静にその頁を繰り出した。「スミス博士は未知だが静に読む積りで携行したこのすばらしい書物の著者だ、人智を拓くために、祖国の名誉のために、一身を挺して一尾の古魚シーラカンスを追い求むるその熱心と勇氣と、聞くだにも真に頭が下がる。為政者としてこのような学者を援けなくて何の生き甲斐があろう。今すぐにダーバンへ非常長距離電話を」と命じたのがその時のマーラン首相の熱意のこもつた処置であつた。

受話器を離したスミス博士は只茫然として一語も発することができなかつた。摂理の御手によつて地獄が一挙に天国になつた。然もそれが救い主あれまし給うその暁かけて。首相は自然科学とはおよそ縁遠い教養を身につけている政治家である。それだのに深夜目めてシーラカンスに関する訴を静聴し、何の反撃も加えずにすぐさま断を下したのだ。政争の具として科学を弄んだ唾棄すべき前首相スマツツ元師、両者は何という相違であらう。スミス博士は歎喜によるめく足を踏みしめながら、シア一邸の客室にまろび込んだが電話の応答を反聞して吉報と察していた夫人を始め憂を共にしていた友人一同は、声張り上げてマーラン首相万歳を三唱した。

明朝 8時30分シアラー邸を訪ねてマーラン首相の命を待つ約を結んでスミス夫妻は船に帰り、万事を夫人に托して博士は単機空路をマダガスカルに向う用意を整えた。船は予定通り午前11時30分錨をぬいて南に去つた。そして成功を祈つて手をふるスミス夫人の姿が船と共に水平線のかなたに消え去つたが、陸に留まつて首相の命を待つスミス博士の許えは何の電話もかかつて来なかつた。暗雲低迷たまりかねてプレトリアの空軍司令部を呼んで見たら、「国防相の命令接受、乗員確定、軍用機ダコタ明朝 5時ダーバン飛行場着」との確報を得た。遅延の理由は首相の別荘とケープタウンとの間の特別電話線がその夜の暴風雨で切断されて通話不能となり、余義なく警官がオートを飛ばして首相の命を伝達したためとわかつたが、マーラン首相の心づかい只感謝々々であつた。ところでこの異常事態を嗅ぎつけた新聞記者共が争うて軍用機への便乗を申し出たが、首相は「スミス教授只一人」と頑強に拒絶して彼等を追い払つた。

定められた時間にスミス博士と見送りの友人達とが到着した朝のダーバン飛行場は霧に包まれていたが、大空を旋廻しつつ着陸姿勢をとつている大型軍用機ダコタの爆音が聞えていた。やがて滑走着陸したダコタの扉があいて機長ブラウアー司令がたくましい姿を現わすや、ダーバン航空隊司令がすぐさまスミス博士を紹介して荷物を積み込んだ。レットレー大尉、ベルグ中尉、ラルストン中尉、ニーカルク軍曹、ブ

リンク軍曹と司令と併せて乗員 6名、凡て南阿空軍の花形たる歴戦の勇士であつたが、「楽しいクリスマス休暇に非常呼集を受けて死魚の運搬に飛び立ちとうとは思わなかつたでしょう」と挨拶する博士を見て、ブラウアー司令は「軍命令です。針路は博士の命ずるまま」と乗員達を顧て微笑を泛べていた。

午前 7時10分離陸、アフリカ大陸東岸に沿うて北上し、葡領ルンボに一泊して翌朝モザンビク海峡を東に越えたが、ハント船長が首を長くして待っているコモロの小島パマンチーに着陸可能であるや否やが疑問であつた。上に目ざして来た怪魚が多年求むるシーラカンスでなかつた場合の世界のものの笑い。マーラン首相を戴く南阿連邦に泥を塗る重大事、自尽してもおわびの致し方がないことを思いめぐらすと密雲重疊の洋上を1万5千の高度をとつて飛んでいるスミス博士の心配は警うるに物がなかつた。

且つまたそれがまことのシーラカンスであつたとしても聞きつけた仏蘭西官憲が仏領水域内の漁獲物取得権を主張して現物を持ち去つてしまつたかも知れぬと二重三重の苦悩に博士はいたたまれなくなつていたところえ、レットレー大尉がやつて来て下界を指さした、雲の切れ目に小さな島が見える。コモロのマヨツテ島である。その東に狭い海峡を隔てて目ざすパマンチーが見える、急降下の姿勢をとつた機の探縦桿を握つていたベルグ中尉が「オーケー」と叫ぶと同時にダコタは狭い浜

辺を疾走しつつ平坦な珊瑚礁上に着陸した思いもよらぬ爆音に土民共はスワ爆撃と肝を潰して四散したが、第1に駈けつけて来たのはハントであった。次で島司である仏人夫妻も公式出迎にやつて来た。スミス博士は開口一番シーラカンスは何処に」とハントの肩をおさえたら「あそこに」と海辺を指さ

した。見れば橋頭にユニオンジャックを翻したハントのスクナーが泛んでいた。そしてその甲板に大きな稀魚を収めた頑丈な箱が横たわっているのが目についた。「ユニオン・ジャックが翻るからにはスクナーの中は英国領だ。仏蘭西が何一つとりあげる権利はな



第二のシーラカンスを入手して驚喜するスミス博士。後列左空軍将校，中央ハント船長，右コモロ島司仏蘭西司政官

い、これで先づ一難が去つた」と博士は自問自答してすぐスクナーへ導けとハントに迫つたが困つた顔をしたハントが「他国領え来たからには国際儀礼というものがありますよ。島司夫妻がああして出迎に出ているのに、島庁へ答礼に行かなくては紳士を以て任ずる英国国民の恥になりますよ」と注告した「俗人の世界はうるさいな」と独語しながら答礼に出かけた博士はすぐさまハントのスクナーに駈けつけて

大きな箱の蓋をとつた。どうして手に入れたのか強烈なフォルマリンの匂が鼻をつく、次にかけてあつた厚い帆布をめくる。その下に白木綿で包まれた大きな魚が横たわっていた。それが求むるシーラカンスでなかつたらどうしよう博士の顔は蒼白になつて全身のふるえがとまらなかつたが、天父に祈

念しつつ手をのべて白布をはいで見た突如として姿を見せた待望のシーラカンス！間違いないが背鱗は只一つ、そして尾は丸くてラテイメリアとは全く様相が違ふ。属も種も異なる第二のシーラカンス、歓極まつたスミス博士のつぶらな眼からは涙が滂沱として流れ

出たが、賢明な首相マーランを記念し稀魚の棲息するアンジユアン島水域を長く記憶するためにこのシーラカンスをマールニア・アンジユアネー (malania anjouanoe Smith) と命名すると博士は即座に宣言して、任を果したダコタ号乗員一同の歓喜の拍手をあげた。

島司の官邸では山海の珍味をととのえて一行の歓待につとめたが、空を眺めていたブラウアー司令が「天候が崩

れる、一刻も早く危険区域を脱出せねば」と注意したので、滞留3時間喜色満面のスミス博士は待望の完全無飲のシーラカンス、然も新属新種を携え殊勲者ハンスの労をねぎらいつつ機上の人となつた。

コモロ諸島の土民共はシーラカンスをコンベツサ (Kombessa) と呼び、沢山は捕わぬが珍らしくない魚だというそして塩蔵すれば食用になるが、鮮肉は寒天状で煮ても焼いても喰えぬという人類未踏の海洋中には果して何が潜んでいることやらと夢を描きつつ歸りを急いでいたスミス博士の手に、無電係りのレットレー大尉が走り書きで認めた紙片が渡された「仏蘭西の戦闘機隊が我等を追跡してマダガスカルえ連れ戻せとの命を受けて只今基地を飛び立つた」云々、スミス博士はびつくり驚天した。そのあわてた様を機長と大尉とは微笑を泛べて眺めていた。「敵の速力は？」「正確にはわからぬがアフリカ大陸え逃げこむ前に追いつかれる公算は大きい」「雲海に逃げ込むすべはないのですか」「さてネー」「撃墜されたら予は貴いシーラカンスを抱いて海の藻屑となるばかり、運を天に任せて飛んで下さい」と決意を語る博士の悲壮な様相を眺めて、レットレー大尉は「じようだんですよ」と笑ひこけた、ことほど左様に帰路は凡ての心がなごやかであつたが、間もなく眼下に葡萄牙領東アフリカの山河が隠見して来た。そして午後6時20分その南端のラワレンコ・マルケス飛行場に着陸し葡国官憲と英国副領事との心からの歓迎を受け、6時45分再び離陸、南下また南下遂になつかしの南阿に入つて、

電光まばゆきターバン飛行場に帰着した。機の扉を開いて姿を現わしたスミス博士を迎えて怒濤の如き歓呼の声をあげた熱狂の大群集、拡声機の前に立たされ、英語でまた南阿語で全国民にシーラカンスを語る博士の一語一語に耳を傾けて拍手を送る人々のその熱誠、博士は思わざる光景に茫然自失の態であつたが、そこえプレトリアの空軍総司令官から長距離電話で祝辞が送られ、「我等幸に任務を果せり、貴宅のあるグレアムズタウンえ御送り致すべきや命を待つと頗る丁重な挨拶が届いたので「願くは明朝ケープタウンえ、完全な姿で入手した第2のシーラカンスを、先づ第1にマーラン首相に御目にかけて喜んで戴かなければ」と已が望を伝達した「委細領承、御芽出度う」と司令官は退いてすぐさま機長ブラーアウ司令に軍命令を伝えたものらしい、その結果が翌早朝ダゴタ号は出発の用意を整えていた。そして午前4時50分ダーバン発、途中スミス博士の居住地グレアムズタウンに着陸して既に帰宅していた夫人を同乗せしめ、10時35分恙なくケープタウン軍用飛行場に着陸した。防衛司令官と幕僚とが静養中のマーラン首相が起臥する郊外の別荘まで5千万年前の稀魚を運ぶ車を用意し護衛兵を附しスミス博士夫妻の到着を待つていた。

そして喜色満面の老首相が南阿の名譽を顕彰したスミス博士を引見し、午餐を共にしつつゆつくり話を承わりたいと待つている旨を伝達した。やがて博士夫妻は首相の別荘に迎えられ、首相夫妻の心からの歓迎を受けたが遠く運ばれたマーラニア・アンジュアネー

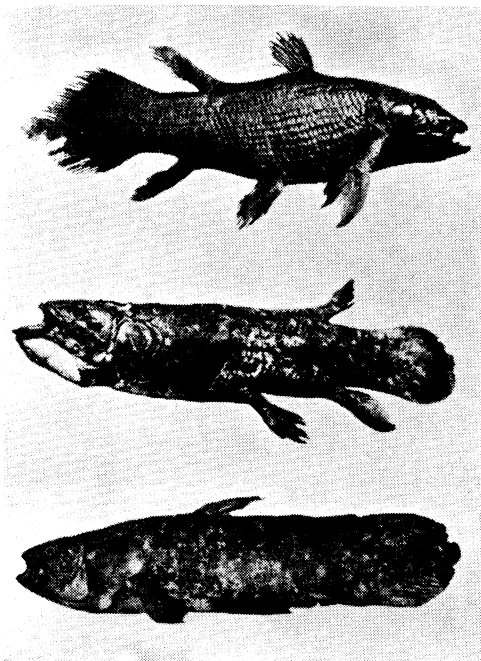
が眠る大きな箱は清らかな庭の本影に横たえられてあつた。蓋が開かれ5千万年前の稀魚が姿を現わした。興味深くその姿を見つめていたマーラン夫妻は怪偉なその資態に接して、マアママアと驚くばかり「我等人類の祖先は嘗つてはこのような見にくい姿のものであつたのかなア」と嘆声を洩らして博士を顧みたので、「現時の人類には

もつと心事の醜いものがあります」と答えて苦闘に終始したスミス教授は呵々大笑した。

どこから聞いたのか「シーラカンス! シーカンス!」と叫んで押し寄せた群集が首相邸を十重廿重ととりまいた「国民のあの熱意を見て下さい。南阿の至宝スミス教授に、どうかバルコニーに立つて只一言で宜しいあの歓呼の声に答えて下さい」と呼びかける老首相の懇願もだし難徳をく博士は先づ第一にマーラ

ン首相の人激賞礼讃し、降誕節に軍用機を差立してたその果敢が齎らした成果を言葉短かに群集に語り聞かせた。かくてマーラン夫人に引きとめられて

首相邸に一夜を過したスミス夫妻は、翌早朝ケーブタウンを出発して基地に帰るダコタ号に身を托し、首相邸の上空を二回旋回して手をふるマーラン夫妻に別れを告げ、マーラニアアンジユアーネーをしつかと守つて一路グレーアムズタウンへと凱旋の途に就いた。飛行場に亘んで歓迎陣をはる多数の群集の中に、イーストロンドン博物館の



採捕された5千万年の稀魚シーラカンス
上、ラテイメリア、チャルムネー
中、マーラニア、アンジユアーネー
下、コモロ諸島で採捕されたラテイメ
リアチャルムネー

声価を高からしめたことを感謝する市長と今は年を重ねて博物館の重鎮となつているミス・ラテイマーの姿とが見えていたが着陸して扉が開かれるのを待ち兼ね、疾風の如く駆け出して来てスミス博士にあつてキッスを捧げたのは双頬に涙滂沱たる殊勲のラテイマー嬢その人であつた。

ラテイメリア・チャルムネーとマーラニアアンジユアーネーと、5千万年の昔を如実に物語るこ

の珍らかな稀魚はまこととわに輝く南阿の宝であり、人智を拓く貴い鍵ともなつた。